

# 水稻生育情報 (No.3)

令和6年6月20日  
県南農林事務所経営・普及部門  
(土浦地域農業改良普及センター)

## 【気象と生育の概況】

本年5月から6月第4半旬までの気象は、日平均気温が平年より **1.6℃高く**、降水量が平年比 **125%と多く**、日照時間が平年比 **122%と多かった**。

6月20日現在の水稻定点調査における管内の「コシヒカリ」生育状況は、草丈は**やや短く**、茎数は**平年並み**、葉色は**やや淡い～平年並み**の状況です。**一部の圃場では田植え後の強風による活着不良で生育が遅れています**。

表1. 水稻定点調査 (6月20日現在：コシヒカリ)

調査地点	田植日 (月日)	植付株数 (株/坪)	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 (葉色板) (SPAD値)
土浦市	<b>5月5日</b>	<b>60</b>	<b>44.5</b>	<b>541</b>	<b>4.7</b> <b>34.2</b>
飯田	(5月5日)	60	(48.5)	(517)	(4.4)   (36.3)
石岡市	<b>5月15日</b>	<b>50</b>	<b>46.2</b>	<b>507</b>	<b>4.25</b> <b>35.3</b>
柿岡	(5月15日)	50	(49.0)	(507)	(4.4)   (36.1)

※ ( ) 内は平成26年～令和5年の10か年平均値

## 【今後の栽培管理のポイント】

### ●中干しの終了の目安について (コシヒカリ)

5月中旬以降に田植えした圃場も中干し開始適期に入っています。茎数を確認し中干しを開始して下さい。中干し終了の目安は葉色が**4(若竹色)**以下に落ちたときです。中干し終了後は**間断かん水**を行って下さい。4月下旬～5月上旬に移植した圃場では、**幼穂が**でき始める時期となる6月末までに中干しを終了して下さい。

表2. 中干しの時期と方法 (コシヒカリ)

開始時期	茎数330本/m <sup>2</sup> 程度となったとき (坪60株・株間18cmで18本/株、坪50株・株間22cmで22本/株)、田植後35日頃が目安
実施期間	葉色が濃い場合は (葉色板で4.5以上) 15～20日程度 葉色が薄い場合は (葉色板で4.5以下) 10日程度
終了時期	葉色が4.0程度に落ちた時期 幼穂形成期 (幼穂長1～2mm、出穂25日前頃) までには終了する
中干し程度	田面に亀裂ができ、軽く足跡がつく程度 水持ちがよい水田では強めに、水はけが良い水田では弱めに行う

### 【中干し後出穂前までの水管理について】

- 中干し後のイネの根は畑作物のように酸素を必要とします。常時湛水で管理では根腐れを起こす危険が高まるため、根の活力保持のため**間断かんがい**を行います。
- 2～3日湛水し、自然落水後落水状態を1～2日程度保つサイクルを繰り返します。落水時には田面が多少乾いても問題ありません。

### 【いもち病の防除について】

気温 14～30℃で多湿条件のときに発生しやすく、葉いもちは例年6月下旬から発生が認められます。向こう一週間は、高温や曇天となりやすく本病が発生しやすい条件です。

昨年度多発した圃場では特に発生に注意してください。葉いもちの防除適期は初発時です。置苗は発生源となるので、速やかに持ち出して処分してください。

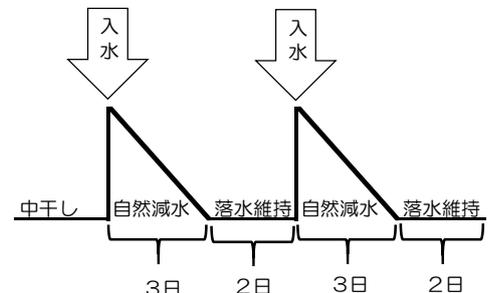


図1. 間断かんがいの例